

平成 25 年度小国地域委員会第 1 分科会 (活動報告)

平成 25 年 12 月 18 日

1 分科会等開催状況

- 7月12日 テーマの確認、課題の抽出・整理
- 8月29日 3つのテーマごとに意見交換
- 9月26日 上記を踏まえ、検討課題「高齢者が気軽に集える場の確保」に決定
- 10月23日 市内の高齢者福祉施設3か所を視察研修
- 12月11日 視察研修のまとめ、今後の活動の方向と集約

2 検討課題の絞り込みの経過

- ・ 3つのテーマについて項目ごとに検討を行い、女性と子どもが過ごしやすい環境整備、少子高齢化対策として、婚活活動が近々の課題との意見が多かった。
- ・ ただし、ふれあい推進協議会の活動とだぶることと、結婚はプライベートなことであり、地域委員会の活動としては少し疑問が感じられた。
- ・ そんな中で、医療福祉や介護、すべての環境整備において、小国地域ではお年寄りが元気で過ごせることが大切であり、それが3つのテーマにつながると方向付けをした。
- ・ 特に主眼は男性である。女性はそれなりに付き合いを持てるが、男性高齢者は農作業に励み、空いた時間の過ごし方が下手なのか・・・何とかして高齢者の生きがい、張り合いの場を作りたい。そのようなことを話し合い、検討課題を「高齢者が気軽に集える場の確保」とした。

3 「市内の高齢者福祉施設3か所を視察研修」の成果

旧長岡市内の高齢者福祉施設で、お年寄りがカラオケなど楽しんでいるようなことから、まずは実態を視察してすることとした。

視察施設は「長岡ロングライフセンター、高齢者センターみやうち、老人福祉センターお山の家」の3施設

視察の目的を「施設、設備の視察と参加者の声を聞く」こととした。

- ・ 3施設とも男性の姿が多く、男女ともに楽しんでいた。カラオケ、囲碁、将棋、お喋り、お風呂、体操など
- ・ 週3回来るという人もおり、1日ゆっくり過ごす。これが健康の秘訣。
- ・ カラオケ施設のレンタル料、順番を守るための進行役など、施設側の苦勞も聞かせていただいた。
- ・ 食事等は持ち込みが多く、食堂はなくても良いのか。お風呂はあった方が

良いが、それほど必要性は感じなかった。

4 今後の分科会活動の進め方について

(1) 「高齢者が気軽に集える場の確保」について、現状の把握

- ・小国地域の取組み、集落内での取組み、その他施設の利用など

(2) 施設整備の検討

- ・利用施設、カラオケの整備、交通手段など

(3) 気軽に集える仕掛けの検討

- ・社会福祉協議会や老人クラブ連合会との連携
- ・コミュニティセンターの活動として、事業運営の検討
(部会事業の検討、コミセン主事の活用など)
- ・地域復興支援センター支援員との連携、検討

(1) については、平成 25 年度中に行い、それについて中間報告を行う。

(2) については、中間報告の内容により、予算が必要になることは平成 26 年度前期に行う。

(3) については、平成 26 年度の主要検討事項とする。

5 その他

第 1 分科会は、たびたび議論がテーマからずれ多方面の意見交換が活発に行われています。しかし、このことが地域委員の自主的活動につながるものと感じている。

小国地域委員会「第2分科会」

小国地域内3小学校PTA意見交換会要旨

1 開催日

- (1) 下小国小学校 11月 1日(金) 午後7時から午後8時30分まで
- (2) 渋海小学校 11月22日(木) 午後7時から午後8時15分まで
- (3) 上小国小学校 11月26日(火) 午後7時から午後8時10分まで

2 意見交換要旨

(1) 子育てや、教育環境での現状と問題点(地域、学校生活の面から)

①学校の児童数が減少していることによる現状と問題点

- ・集落内に同級生が少なく、他の集落に遊びに行くが、親の送迎が必要(上)(渋)(下)
- ・先生が目が行き届いて良いが、競争があまり無いと思う。また、人間関係が固定化されてしまう。高校に行くと生徒数が増えるためなじめるか心配している。(上)(渋)(下)
- ・役員(育成会、学校役員)がすぐまわってくる。(上)(渋)
- ・小学生のクラブチームが出来たことにより、スポーツに親しむことが出来るようになったが、中学校の部活数が減少したことにより、継続することが難しい。部活のために他の校区の学校に通う子もいる。(渋)
- ・いじめ等があった際、大きい学校だとクラス替えにより環境が変わることもあるが、小さい学校では環境は変わらない。(渋)
- ・3、4年生は26年度から複式学級になる。教育カリキュラムでは3、4年生が複式になる。(下)
- ・保育園で構築された人間関係が小学校で一度分かれ、中学校になってまた一つになることによる変化があり、中学校で一つになった時違った人間関係が出来る(下)

②登下校や、放課後に関する現状と問題点

- ・上小国小学校では、地域パトロールを行っているが、学校に迎えに行くようなこともある。大きい車がないと、学校を2往復することもある。(上)
- ・小学生の下に、保育園児未満時がいるため、月2回のパトロールでも負担は大きい。(上)
- ・以前はパトロールを保護者で行っていたが、集落で当番を組んでもらって実施している。(上)
- ・おひさま児童クラブは18時までに迎えに行かなければならないが、迎えに行くことが難しい。(上)
- ・おひさま児童クラブから、OKバスに乗せて家まで帰ってきている。OKバスの時刻を見直していただくとありがたい。(上)
- ・おひさま児童クラブへの迎えが困難なため「ファミリーサポート」を探したが、需要がなく昨年で終了していた。(上)
- ・集落内に同級生がおらず、下校時1人で下校する子もいる。安全面が心配される。(渋)(下)
- ・徒歩での通学により、体力の向上を図れている。(渋)(下)
- ・子どもたちは、放課後に習い事等があり、子ども同士で遊ぶ機会は減っている。(下)

③子育てを行っていくうえでの現状と問題点

- ・地域内に小児科がない。小児科に行くには他の地域(小千谷等)まで行かなければならず不便。(上)
- ・地域内で働くことができれば、子どもの迎え等も対応できると思うが、地域内に働く場所がない。(上)
- ・共働き世代としては、途中入園できる環境を整えてもらいたい。(渋)
- ・保育園から、小学校に入学する際、他地域に引っ越ししてしまい、小学校入学数は減っている。(渋)
- ・おひさま児童クラブは夏休み8時から子どもを預かってくれるが、父兄がその前に出勤してしまうため、1人で“だんだん”までOKバスに乗って通っていた。今後そのような児童のことを考える必要がある。(上)

(2) 子どもの育てやすい環境を整備するには

- ・子どもの数が少ないため、行政や地域に対する要望数も少なくなり取り上げてもらえなくなるといった悪循環に陥ってしまう。少ない要望に対しても対応してもらいたい。(上)
- ・子育てする環境(例:放課後児童クラブの時間延長等)を整えることにより、小国で子育てしてもらえるようになれば良いと思う。(上)
- ・将来的な子どもの減少による、学校統合を考える必要があると思うが、子ども同士の家の距離が遠くなってしまい、遊ぶのが困難になると思う。(上)
- ・おひさま児童クラブでは、18時まで子どもを預かってくれるが、地域内では子どものスポーツクラブが増えているので、18時以降スポーツクラブで子どもの面倒を見れる仕組みがあれば良いと思う。(上)
- ・地域、学校、PTAとの関係性を築いていく必要があると思う。コミュニケーションを図ることにより、親同士、子ども同士、地域ぐるみでの人間関係の構築が大事だと思う。(渋)
- ・多世代交流のイベント(25年度実施のポニーフェスティバルの様な子どもも喜ぶイベント)をもっと増やしてみてもどうか。また、イベントや地域行事に親が積極的に連れていくことにより、地域との関係性を築く必要があると思う。(渋)
- ・“小国町”は、高齢化対策に重きを置いていると感じるが、少子化対策にも重きを置いてもらいたい。
- ・学童保育は充実していると感じる(渋)
- ・送迎を含めて、子どもたちが自由に遊ぶ場所があると、子ども同士が遊ぶことができると思う。(下)

(3) 教育環境を良くしていくためにはどうしたら良いか

- ・通学合宿は面白い取り組みだと思う。(上)
- ・1年を通して、3小学校が様々なバリエーションの交流を図っていくと良いと思う。1、2年生の交流も図っていく必要がある。(上)
- ・保育園で友達になったのに、小学校では別々になり子どもは悲しんでいたが、3校で連携する授業等で保育園の頃の友達と一緒にあったと喜んでいて、その様な取り組みを重ねることにより、中学校で一緒になった時、なじみやすいと思う。(上)
- ・保育園から小学校にあがる時、別々の小学校に行き、中学校でまた一つになるのが小国地域だが、別々の小学校に行くことになるが個人的には理解できない。(上)
- ・児童数が少ないからといって人間関係の構築を考えると、統合するのはどうかと思う。(渋)
- ・将来あまりに生徒数が減少することが見込まれているので、3校ある小学校を統合してはどうか(渋)
- ・現在、3小学校でトライアングル授業を行っている。統合しなくても他校との交流の機会があるし、今後も交流の機会を増やせば、統合の必要性はないと思う。(渋)
- ・渋海太鼓は良い活動だと思う。その活動により人前が出る自信がついたと思う。(渋)
- ・いつかは統合すると思っている。誰が、いつ、どの様にといったものは考えたことがない。(下)
- ・1年生を持つ親として途中で統合した方が良いと思っている。統合は誰が決めるのか分からない。(下)
- ・保育園の保護者の意見を聞くことが必要だと思う。(下)
- ・統合には賛成だが、誰かがやってくれるだろうと思っている。(下)

(2)・(3) どちらにも関わるもの

- ・保育園から中学校まで同じ敷地にあると良い。また、隣接している場所におひさま児童クラブのような施設があれば良いと思う。(上)
- ・子ども達と、地域との関わりが弱いと感じているので、地域との関わりが持てる総合学習の場を増やすことは出来ないか。(渋)
- ・保育園や、各小学校の保護者同士で話し合いの場を設けることも考えていく必要がある。(下)

●小国地域小学校人数

平成25年10月15日現在

	上小国小学校	渋海小学校	下小国小学校	合計
1年生	6	11	6	23
2年生	11	14	10	35
3年生	9	11	10	30
4年生	13	18	14	45
5年生	7	19	6	32
6年生	7	13	13	33
合計	53	86	59	198

●1～6年後の小国地域小学校児童数見込み

	上小国小学校	渋海小学校	下小国小学校	合計
1年後	51	86	55	191
2年後	50	81	59	189
3年後	40	76	50	165
4年後	37	75	50	162
5年後	29	73	47	149
6年後	33	74	46	153

保育園の園児数9/1現在 106名

小国地域子供の人数と1～6年後の小学校児童数見込み

●小国地域1歳児～中学生までの人数

平成25年4月1日現在

	上小国小学校区	渋海小学校区	下小国小学校区	合計
未入園児 (1歳児～3歳児)	19	34	22	75
入園児 (4歳児～6歳児)	14	40	24	78
小学校	53	86	57	196
中学校	28	64	43	135
合計	114	224	146	484

●1～6年後の小国地域小学校児童数見込み

	上小国小学校	渋海小学校	下小国小学校	合計
1年後	51	86	54	191
2年後	50	81	58	189
3年後	40	76	49	165
4年後	37	75	50	162
5年後	29	73	47	149
6年後	33	74	46	153

●H13年～H24年までの小国地域出生数

年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	合計
人数	34	32	44	29	35	23	29	30	22	26	23	27	354

●1歳児～6歳児の小国地域各地区の人数

平成25年4月1日現在

	1歳児(H24)	2歳児(H23)	3歳児(H22)	計	4歳児(H21)	5歳児(H20)	6歳児(H19)	計
上	10	3	6	19	3	6	5	14
渋	12	12	10	34	13	14	13	40
下	5	7	10	22	5	10	9	24
合計	27	22	26	75	21	30	27	78